市議会だより vol.15

岡山市議会議員　高橋雄大（ゆうだい）

YUDAI TAKAHASHI City council report

（発行元：岡山市議会おかやま創政会）

ごあいさつ

知恵をしぼり、工夫して市民生活を支援する取り組みを推進します。

わくわくする未来を創る。

岡山市議会議員の高橋雄大です。平素より私の議会活動にご理解をいただきまして、誠にありがとうございます。令和元年 5 月から岡山市監査委員を拝命し、令和 3 年 5 月からは議会の保健福祉・協働委員会の委員長に就任しました。コロナ対策の最前線である保健所や保健福祉局、そして町内会活動の支援や SDGｓの推進などを所管する市民協働局に関する議案や政策、事業などを担当してきました。

コロナ禍は今の社会の仕組みや経済の問題点を大きく浮き彫りにしました。また、昨年令和 4 年の後半からはコロナ禍に加え、賃上げが進まない中での物価上昇、エネルギー価格の高騰がさらに家計へ大きな影響を及ぼしています。

物価高騰、エネルギー価格高騰対策、市民生活などへの支援に関わる取組みは待ったなしです。先の見通せない時代だからこそ、知恵をしぼり、工夫し、未来を展望し、力強く行動する議会や行政が求められています。

ウィズコロナに向けた取り組みやまちづくり、災害対策、子育て、医療や介護、公共交通政策など、様々な課題に今年も取り組んでまいりますが、その姿勢の原点は市井に暮らす視点や感覚を大切にし、そこに寄り添うことです。皆様の身近な暮らしの課題や声により高くアンテナをはりながら、引き続き精一杯汗をかきたいと思います。

高橋雄大（おかやま創政会）　一般質問項目■　令和４年６月～11 月定例岡山市議会

◆令和４年６月定例岡山市議会（個人質問）

❶子育て・教育に関わる政策について
1）改正児童福祉法成立
2）子ども総合相談所の体制
3）育休新制度
4）部活動の地域移行
5）熱中症対策

❷行政計画の今後
1）行政計画の策定について
2）負担金について

❸ふるさと納税

◆令和４年９月定例岡山市議会（個人質問）

❶子育て・高齢者福祉に関わる政策
1）こども総合相談所の体制
2）園児の安全対策について
3）産後ケア事業について
4）フレイル対策事業について
5）成年後見制度について

❷都市公園整備に係る岡山県建設事業費負担金
1）負担金の根拠となる事業について
2）地方財政法の解釈と岡山市の負担率について
3）地方財政法２７条２項の「市町村の意見」について
4）手続きについて

❸うらじゃの振興

❹災害対策
1）ペットの同行避難について

◆令和４年１１月定例岡山市議会（個人質問）

❶物価高騰対策について
1）市民生活、事業者支援の取組み
2）「エネルギー価格高騰緊急対策支援金」「省エネ機器導入補助金」などの申請状況
3）本市の生活者、事業者の課題を踏に沿った物価高騰対策や地域経済再生に関する取組みの構想について
4）市内事業者の現況調査について

❷子育て・高齢者福祉に関わる政策について
1）こども総合相談所の体制
2）園児の安全対策
3）産後ケア事業
4）ファミリーホーム
5）健康寿命の延伸

❸カスタマーハラスメント対策について

❹高規格準拠救急車の配備について

❺EV スポットの普及促進について

❻財産区について

以下、議会質問から一部抜粋いたしました。お目通しいただければ幸いです。

◆児童虐待対策に進展！　児童相談所に現職警察官を配置へ！様々な視点から対策強化。

Q 虐待の早期発見、防止には、様々な関係者と最善の連携を深めることや、多様な視点で対策にあたることが欠かせません。過去の本会議でも警察との綿密な連携の推進を訴えてまいりました。警察との全件共有と現職警察官の配置については、いずれも実施もしくはどちらかを実施している自治体が６割を超えます。コロナ禍で危険なケースも潜在化してしまいやすい現状において、警察による職務の視点での早期のリスク判断や※1 こども総合相談所（児童相談所）がかねてから不得手とする場面での連携が期待です、厚労省も全国に実施を促している経緯もございます。こども総合相談所（児童相談所）と警察の業務の内容や視点は異なるため、**お互いが抱く危惧が両者にしっかり伝わるような顔の見える関係の構築**が求められています。現職警察官のこども総合相談所（児童相談所）への配置についてはどのようにお考えでしょうか。来年度に向けて県警との人事交流についての協議をしていくべきと考えますがご所見をお聞かせください。

※1【こども総合相談所（児童相談所）】児童福祉法第 12 条に基づき、子どもたちが心身ともにすこやかに育ち、持てる力を最大限に発揮することができるよう、福祉や心理などの専門スタッフがこども（原則 18 才未満）に関する様々な相談に応じ、援助することを目的とする専門的な機関。全ての都道府県および政令指定都市に設置される。児相と略称される。

岡山市
児相に現職警察官
虐待通報など 情報共有へ
来春配置目指す
（岡山市）

A A. 市としても、現職警察官の配置については警察との虐待事案の情報共有やお互いの危惧がしっかり伝わるような関係の構築が非常に重要であると考えています。**現職警察官のこども総合相談所への配置について県警と協議を進めます。**
（遠藤千里　岡山っ子育成局長）

▲令和４年 12 月９日（山陽新聞）

雄大'S point of view!

【こども総合相談所（児童相談所）への現職警察官の配置を提案】
児童相談所への現職警察官の配置は、警察と児相の顔の見える関係作りに直結します。定期的な警察との情報交換は今でも行っていますが、実際に現職警察官が児相の内部で仕事をし、その職務の内容を知ることができれば、一時保護の必要性の警察の視点からの判断など、リスクを早期に摘み取るために、児相の職務の中のどの部分を抑えれば、ハイリスクケースを早期発見できるのかといったことが理解されやすいと考えます。児童相談所は子どもたちの福祉や支援の視点を軸に置きながら、児童虐待の早期発見・対応のためにこれまで以上に様々な関係者と連携を密にしていくことが必要です。

◆子ども安全対策に進展！情報共有の運用見直しへ！　市長方針。

ヒヤリ・ハット
私立園にも報告求める
全国で情報共有
全公立園管轄 市長に出し
マイナカードで可能に
（山陽新聞）

▲令和４年 12 月９日（山陽新聞）

Q 令和４年９月の静岡県牧之原市での通園バスへの置き去りによる死亡事件を受け、政府は就学前施設等で発生した子どもの安全に関わる事案についての実態調査を開始するということです。現在は、こうした事案について、死亡事故や重篤な事故については報告を求めるものの、そこに至らないケースについては国では報告を求めておらず、本市においても同様の運用になっていますが、いわゆる※2 ヒヤリ・ハット事例などを各施設と行政が共有することで**重大事故のリスクを早期に摘み取ることにもつながります。**本市への報告事項や共有事項に関する運用の改善についてご所見をお聞かせください。

※2【ヒヤリ・ハット】重大な災害や事故に直結する一歩手前の出来事のことを指す。思いがけない出来事に「ヒヤリ」としたり、事故寸前のミスに「ハッ」としたりすることが名前の由来。ヒヤリ・ハットは、事故や災害につながる要因を特定し対策する貴重な機会であり、リスクマネジメントの観点から重要視されている。

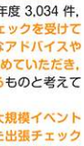
A 確かに牧之原での園児の置き去りの事件とか、幾つかそういったことが見られております。高橋議員御指摘のように、国は我々自治体に対して死亡事故と治療を要する期間が３０日以上の負傷、疾病を伴う重篤な事故の報告を求めております。しかしながら、岡山市ではこれに限らず岡山市立の保育園、認定こども園に限っては事故の一歩手前のヒヤリ・ハット事例についても報告を受け共有してきたところであります。しかしながら、御指摘のように様々な事件、事故が起こっているところでありますので、我々としてはそれを拡大していこうと、**ヒヤリ・ハットの報告基準を整理し令和５年度から私立の園についても報告を求め全国で共有を図りたい**と考えております。（大森雅夫市長）

雄大'S point of view!

【就学前の子どもたちの安全対策に関わる情報共有の運用改善を提案】
国では、死亡事故や治療に要する期間が 30 日以上の負傷、疾病を伴う重篤な事故等について報告を求めており、岡山市においてもその基準で施設から事故等の報告を求めていました。こうしたなか、全国的に頻発している通園バスの置き去り事件や園外保育中の事故などを踏まえた園児の安全対策として、大きな事故につながりかねない『ヒヤリ・ハット』事例も含め**市内全園と行政による情報共有を行う運用の改善**を提案してきました。沢山の『ヒヤリ・ハット』の見過ごしが重大事故につながることから、情報共有の運用改善により、**早期のリスク発見、予防**につなげます。

朝の街頭市政報告実施中です！
岡南大橋・桜橋・新京橋・京橋・中区役所前、相生橋、岡北大橋等
◆AM7:30～9：00

3年ぶりのおかやまマラソン、完走！
雨のスタートになりましたが、後半は気持ちの良い天気になり、最後まで楽しく 42.195 ㎞を走ることができました。ボランティアの皆さんや応援してくれた皆さんに感謝です。今後のウィズコロナのスポーツ大会の在り方を示す貴重な機会となりました。



岡山市新型コロナウイルス受診相談センター◆電話 086-803-1360◆平　日：午前９時～午後９時　土日祝：午前９時～午後５時

■高橋雄大プロフィール■
現在４１歳。法政大学法学部卒　家族　妻、長男（９歳）、次男（５歳）
岡山市議会議員（３期）保健福祉・協働委員会　委員長／国民健康保険運営協議会　会長／公益財団法人岡山市ふれあい公社＿評議員／岡山市民生委員推薦会　委員／岡山市久米南町国民健康保険病院組合議会議員／２級ファイナンシャル・プランニング技能士／岡山市ジョギング・マラソン議員連盟　幹事長（６年連続おかやまマラソン完走）

高橋雄大（連絡先）
【円山事務所】〒703-8271 岡山市中区円山 90-9YS タウン円山 201
【湊事務所】〒703-8266 岡山市中区湊 194-1C 号室
【備前高島事務所】〒703-8243 岡山市中区海水 346-1-302
【TEL】086-230-3633【FAX】050-3730-9606
【Email】boasorte0411@gmail.com

◆健康寿命の延伸へ！フレイル対策を浸透させる。

Q 本市では※3 フレイル対策事業として現在、薬局や医療機関など 164 の機関でフレイルチェックを無料で実施しています。令和元年からの事業になりますが、ここまでの制度の利用実績と成果をお示しください。コロナ禍以降の変化があればその特徴をお示しください。また、本市では、今年（令和４年）初めて９月 21 日から 10 月 21 日の１か月をフレイル予防強化月間と定めました。フレイル状態にある方々が増えているという分析などがあるのかを含めて、強化月間を定めた背景についてご説明ください。

※3【フレイル】加齢などにより心身の活力が低下し、疾患や生活機能の障害が現れる状態。フレイルは健康な状態と介護が必要な状態の間に位置する時期にあたり、多くの方は、フレイルを経て要介護状態へ進むと考えられている。一方でこの時期の適切な介入・支援により、フレイル状態を早期に発見し、予防の取組みを行うことで、元気な状態を取り戻せる大切な時期だと言われている。コロナ禍の現在、適切な介入・支援とそれによる早期発見の取組みは大変重要な局面。

A フレイル健康チェックの実績は，令和２年度 3,034 件，令和３年度 3,451 件となっており，**チェックを受けていただいた方に対しては専門職が適切なアドバイスや個別指導を行うことで健康への意識を高めていただき，早い段階から予防の取組につなげている**ものと考えております。
コロナ禍以降の変化についてですが，**大規模イベントでのチェックから少人数の団体に向けた出張チェックに変更するなど工夫したことにより，件数は僅かですが上昇傾向**にあります。次に，強化月間を定めた背景と取組内容についてです。
コロナ禍において，外出や友人，知人との交流を控えることでフレイルリスクが高くなるという傾向がありますが，**昨年度市が行った調査によるとフレイルの認知度が約３割と十分に浸透しているとは言えない状況**です。このため，強化月間を設定しフレイル予防に役立つ情報を一体的かつ集中的に発信することで，フレイル予防について関心を深めていただく機会を増やしたいと考えたものです。（福井貴弘　保健福祉局長）

雄大'S point of view!

【市内の薬局や医療機関などでフレイルチェックを無料で実施しています】
こちらの QR コードを読み取ってください。→

◆働く人たちを守る！カスタマーハラスメント対策を。
ついに第２次岡山市消費者教育推進計画に位置付けが決まる！

サービス業や流通業などに従事される方々の現場の実態調査などの公表から、社会に認識され始めた※4 カスタマーハラスメントは、コロナ禍の最近では、バスや鉄道や航空、トラックなどの交通運輸産業、あるいは自治体職員、学校の現場など、様々な職種、職域における労働界での実態調査が行われ、その被害の実態や深刻さが明らかになっています。
厚労省は令和２年度に行った職場のハラスメントに関する実態調査などに基づき、令和４年２月に企業向けの対策マニュアルを策定しました。長引くコロナ禍や物価高騰などの影響で、より深刻化する現状を踏まえて、国会等では職場におけるハラスメント対策から一歩踏み出して、社会的ハラスメント対策として法制化も含めたカスタマーハラスメント対策の議論も行われているところです。
さて、本市の※5 第２次消費者教育推進計画の消費者教育の現状と課題における、今後対応すべき課題の項には様々な社会環境の変化や制度改正によるテーマが位置付けられていますが、こうした課題のひとつとして、**深刻さを増すカスタマーハラスメントへの対応についても位置付けをしていくべき**と考えますがいかがでしょうか。
また、すぐにでもできる取り組みとして、厚労省が作成した「カスタマーハラスメント対策企業マニュアル」を本市においても周知、活用していくことも必要と考えますがご所見をお聞かせください。

Q **A** 現在策定中の第２次岡山市消費者教育推進計画では，個別施策の一つとして**新たにカスタマーハラスメントへの対応について盛り込んでまいります。**
議員御提案の課題への記述については，現在行っておりますパブリックコメントの御意見などとあわせて検討してまいります。
厚労省作成の対策企業マニュアルについては，今後関係課と協力して事業所への周知を図ってまいります。（中原貴美　市民生活局長）

※4【カスタマーハラスメント】お客様などから従業員への過剰な要求や悪質なクレームのことを指すハラスメントの一種で，「カスハラ」と略されることもある。商品やサービスに関係のない要求や嫌がらせ，過度な値引き要請，恫喝や暴言，インターネット上の誹謗・中傷などの行為が当てはまる。

※5【岡山市消費者教育推進計画】「つながる消費者教育」をスローガンに，自ら考え，選択し，行動する消費者の育成を目指して，岡山市では消費者教育を推進。同計画は 2018 年度から 2022 度までの５年間の計画期間となっており，2022 年度（令和４年度）に改定の議論を行い，2023 年度（令和５年度）から第２次岡山市消費者教育推進計画に改定される。

雄大'S point of view!

【被害者にも加害者にもならないための消費者教育へ。カスタマーハラスメント対策の提案が実現】
2023 年度（令和５年度）から改定される第２次岡山市消費者教育推進計画に「カスタマーハラスメント対策」が位置付けられることとなりました。被害者にも加害者にもならないための消費者教育の実現、サービスを提供する側も受ける側も共に尊重される消費社会の実現に向けた大きな１歩です。これは少なくとも政令指定都市、都道府県では全国初めての取組み。同計画に位置付けられたことで、来年度からの個別具体の施策の展開について積極的な提案と議論に汗をかきたいと思います。

◆物価高騰、エネルギー価格高騰対策　市民生活、事業者支援は待ったなし！

雄大'S point of view!

厚労省が令和３年に実施した国民生活基礎調査の生活意識の調査によると、18 歳未満の子どもがいる世帯の 25.4% が「大変苦しい」、33.8%が「やや苦しい」と回答しており、総じて約６割の世帯で生活に厳しさを感じていることが分かっています。これは令和３年の調査ですので、令和４年以降は**コロナ禍に加え、賃上げが進まない中での物価上昇がさらに家計へ大きな影響を及ぼしています。**政府は令和４年 10 月末に物価高に対応する４つの柱で構成された総合経済対策を閣議決定し、12 月には電気や都市ガス料金、ガソリンなどの燃料費の負担軽減におよそ６兆円を計上したほか、歳出総額約 29 兆円の補正予算が衆参本会議で可決成立しました。国は、この補正予算に係る財政措置として、自治体が政府で定めた総合経済対策の事業や同経済対策に合わせた独自の地域活性化策を円滑に実施できるよう、今年度の地方交付税を 4970 億円増額交付すること、さらにはウィズコロナ下での感染症対応の強化を図るため、地方創生臨時交付金を 7500 億円増額することなどを示しました。
今後、こうした財源を活用して、地域経済の活性化、地域消費喚起につながる取組みや持続的な賃上げにつながる市内事業者への支援強化が求められます。また賃上げの足かせとなるエネルギー価格の高騰に対する支援は年度末の補正予算などで早急に対応しなければなりません。さらには省エネを図る設備投資へのサポートや人材教育、個人のキャリアアップ支援など「人への投資」を強化する必要があると考えます。そして政府の総合経済対策でも、子ども食堂やフードバンクへの支援であるとか、生活困窮への食品支援といったところを大きく拡大しています。物価が上がって、フードバンクに活かせる食品が減少しているためです。**コロナ禍丸３年、そして今年からの物価高、特に不安定な就業形態の場合の子育て世帯、あるいはそこを含めた幅広い生活困窮への支援、これは待ったなしだと強く思っています。**
今後の国の総合経済対策に呼応するもの、岡山市独自のもの、いずれにしても、生活困窮対策に資する経済対策、持続的な賃上げにつながる事業者支援などはしっかり打ち出していただきたいと思いますし、そのための提案や議論を行います。

保健福祉・協働委員会の議論から

令和３年５月臨時議会の人事再編で、２年間務めた岡山市監査委員を退任し、新たに**保健福祉・協働委員会の委員長**に就任しました。コロナ対策の最前線である保健所や保健福祉局、そして町内会活動の支援や SDGｓの推進などを所管する市民協働局に関する議案や政策、事業などを担当しています。

保健福祉・協働委員長　高橋雄大

■岡山市子ども医療費助成制度、無償化などの対象年齢拡大が実現！！

子ども医療費助成については平成２８年から小学生までを対象に通院医療費を１割負担に軽減してきましたが、昨年度はさらなる拡充について様々な議論や提言を行いました。
子育てをする上での安心を政策として位置づけて進めてほしいなど、**無料化実現やその対象年齢の拡大**に向けた要望について令和４年２月議会の本会議最終日に**委員長報告**を行いました。令和５年度中に、右表のように実施されます。

子どもの医療費助成 市長に要望
制度の改善に向けて議論していきたい
岡山市議会広報番組「岡山市議会タイムズ」（R4.7.24 放送分）

◆令和５年度
子ども医療費助成制度の改正点

改正前	通院	入院		改正後	通院	入院
就学前	無料	無料	→	就学前	無料	無料
小学生	1割	無料		小学生	無料	無料
中学生	(3割)	無料		中学生	1割	無料
高校生	(3割)	(3割)		高校生	1割	無料

※高校生とは、在学の有無にかかわらず、１８歳に達した日以降の最初の３月３１日までの者

市政トピック

■全ての市立小・中学校の特別教室にエアコンを設置へ！

夏の猛暑時の児童・生徒の学習環境を向上させようと、**全ての市立小・中学校の特別教室（理科室や音楽室、多目的教室など）にエアコンを設置します。**令和７年６月までには設置完了予定。岡山市立の小・中学校では令和２年の夏までに普通教室のエアコン整備が完了しており、議会でも特別教室への設置に向けた議論を進めてきました。

■使用済みおむつは園で廃棄　保護者による持ち帰りを廃止へ！

2023 年度から保育園や認定こども園における**子どもたちの使用済み紙おむつについて保護者による持ち帰りを廃止し、各園で廃棄**します。私立園には使用済みおむつの廃棄を行うための環境整備に必要な経費を補助します。
保護者の皆さんの利便性の向上、保育現場の負担軽減への大きな一歩です。

■渋滞の解消へ　道路ネットワークの充実・強化

交通渋滞の解消に資する、**岡山赤穂線や下中野平井線、江並升田線、岡山牛窓線などの外・中環状線や幹線道の整備による道路ネットワークの充実・強化**などにより、各地域の活力を高めていく必要があります。また、**幹線道路の渋滞は周辺の生活道路への自動車などの流入の大きな要因**になります。幹線道路の渋滞緩和にむけて必要な箇所の交差点改良を進めることが必要です。

河川沿線の幹線道路
山崎排水機場
下中野平井線
江並升田線
岡山牛窓線
岡山赤穂線
（岡山市）

・下中野平井線（旭川工区）河川部橋脚工事が完了。

■河川等による浸水対策事業を強化へ　令和５年度の取り組みは

倉安川改修工事を**継続**
山崎排水機場の施設整備に**着手**
原尾島排水機場の施設更新工事を**継続**
米田排水機場の施設更新の詳細設計を**継続**
沢田・今谷排水機場の施設更新工事を**継続**